

— 今後4年間、特に力を入れたいこと —
山下だからこそできること

教育×食と農

手賀沼・利根川、顔が見える農業、
個性的な飲食店は柏の強み。
都内にはない柏の可能性を引き出します。
また、柏の強みを活かし、
「食育」事業も推進します。

教育×福祉

高齢者と子どもが交流する仕組みや
生涯学習を充実させます。
「子ども食堂」や学習支援など
格差解消にも取り組みます。

教育×まちづくり

安全で、健康的で、出会いがあり、
緑と文化があり、歩行者も自転車も
楽しめる街を整備します。

教育×図書館

貸本屋ではなく、学校教育や
コミュニティの支援など、
文化とまちづくりの拠点となる
図書館の実現に向け働きかけます。

活動

- 柏まちなかカレッジ 学長
- (社)教育共創研究所 代表理事
- 教育コンサルタント山下洋輔事務所
- ネクスファ 教育アドバイザー
- 保護司 橘生涯更生支援会

プロフィール

- 1978年4月生まれ。
- 東葛飾高校卒業。早稲田大学教育学部卒業。
- 同大学院修士課程修了後、土浦日大高校にて教諭。
- 早稲田大学大学院教育学研究科
後期博士課程を単位取得後退学。
- 2011年から柏市議会議員。

趣味

- 歴史散策、剣道(三段)、絵画、
カポエイラ、三線、バイク、JAZZ

著書

- 『地域の力を引き出す学びの方程式
柏まちなかカレッジにみる教育×まちづくりの答え』(水曜社)

家族

- 妻、長男(2014年生まれ)

後援会連絡(事務所)

柏市柏3-10-20
柏ストーンハイツ103
tel: 04-7170-0668 / fax: 03-6745-9416

応援
ボランティア
募集!

山下洋輔ウェブサイト <http://y-yamasita.com/>
Facebook <http://facebook.com/yosukekeyama>
Twitter <https://twitter.com/yosukekeyama>
柏まちなかカレッジ <http://facebook.com/machicolle>
(社)教育共創研究所 <http://www.k3japan.org/>

討議資料

教育のまちに

山下洋輔

無所属
元教員
柏市議

1. 地方政治へのモチベーション

なぜ、教師を辞めて、政治家を目指したか

■ 私は、高校教師でした。学級担任、授業、部活動、住み込みで学生寮の監督、PTA活動、学校改革と全力で取り組んできました。

しかし、学校だけでは解決できない課題にも直面しました。生徒指導や進路相談から、家庭や社会の経済状況や地域の治安など、子どもを取り巻く環境を整えなければならないという思いを強めました。

子どもの貧困や教育格差、地域コミュニティの崩壊は重大な社会課題です。

NPOを
持続可能な活動に転換

■ 議員になる前から、不登校児童・生徒の支援や親の相談、保護司の活動をしてきました。NPOなどでは、素晴らしい活動が展開されていますが、中心人物の努力や財力で運営されていることが多々あります。中心人物が引退してしまったり、活動が衰退してしまう事例を数多く見てきました。

市議会議員となり、素晴らしい活動がシステムとして機能するよう、公的な支援を制度化したり、行政や企業との協働を後押しすることができました。

国会議員ではなく、市議会議員だからこそできること

■ 国会議員には変えられないことが、市議会議員では変えられるという実感があります。

通学路を安全にしようと働きかけたり、食育の取り組みのために地域の農家さんとのつながりを作ったり、家庭環境の違いで塾に行けない教育の格差をどう埋めるかなど、市議会議員は、子どもたちや現場の先生、保護者、地域の方々と密に話ができて、変えていくことができます。

学習指導要領や教職員の予算は国・県で決められていると言いますが、教育現場の最前線に立っているのが地方自治体です。理念的な議論ではなく、目の前にいる子どもたちのために市議会は日々活動しています。

2. 柏を教育のまちに

地域で
子どもを育てる

■ 「子どもを一人育てるためには、ムラが一つ必要だ」ということわざがあります。しかし、今の日本の子育てや教育は、家庭や学校まかせになっています。もっと、地域や社会の支えが、子育てや教育には必要なのです。



学童保育で、3年間毎月、「対話」の授業を実施

市内すべての
学校を良くする

■ 教員一人の成功モデルを市内の学校に広め、続けられるよう支援する。公教育で手の届かなかった子どもたちを支えるNPOとも協力し、制度化や予算化を進める。

1つの教室や学校だけではなく、柏市内すべての学校に働きかけられることは、学校の教員ではできなかった市議会議員ならではの仕事です。



まちが教室、まちの人が先生の「柏まちなかカレッジ」を主宰。6年間で250の講座を開催。

3. 課題発見力と実現力

私の発見と提案
4年で150の課題を発見、議会で解決策を提案

■ 市議会は、行政のチェックと提案することが役割です。私は、教員や地域での活動の経験、教育学研究の成果を活かして、約150の課題を発見し、市議会から行政に提案をし、働きかけてきました。

柏駅前周辺のバリアフリー化に向け、実際に車いすで移動し、現状を調査。



提案をし、
実現させた
教育の課題

- 放課後子ども教室の拡充
- 児童虐待・いじめ防止条例の制定
- スクールソーシャルワーカーの新設
- 図書館指導員の増員

提案をし、
実現させた
その他の課題

- 駅前・旧水戸街道沿いのバリアフリー、歩行者天国
- 自転車道の整備
- 子ども医療費助成の延長
- 障がい者の就労支援となる小型家電リサイクルの仕組み
- 染井入落の環境に配慮した工事
- 手賀沼周辺の観光と環境保全のフットパス(ウォーキングコース)
- SPIと面接・論文による採用試験(I LOVE 柏)
- オープンデータ(独自システムの地図からGoogle mapに)
- 歴史資料の収集・保存(芳野金陵展に)

引き続き
働きかける
課題

- 駅前に図書館を整備
- コミュニティ・スクール
- 国際バカロレアの導入
- 再生可能エネルギーの地産地消

詳しい活動は山下洋輔ウェブサイトにてご確認ください。

 <http://y-yamasita.com/>